



全電線中央委員会

第199回中央委員会にて 2019年春季闘争方針を決定!!

全会一致で採択

議長団 写真左:高川中央委員(フジクラ)
写真右:佐藤中央委員(住友)

岩本中央執行委員長挨拶

闘争日程	
2月26日(火)	第1回統一交渉日
3月5日(火)	第2回統一交渉日
回答指定日	
3月13日(水)	Aブロック単組
14日(木)	BCブロック中戦単組
15日(金)	BCブロック単組

2019年春季闘争

共に働く仲間の皆さん、おはようございます。

本日(2月19日)は、全電線統一要求提出日です。

JEUU 2019年春季闘争の取り組み

「先を見据えた豊かさと生活の安心・安定をめざす」ための『総合生活改善闘争』との位置づけのもと取り組みます。

雇用の維持・確保

○雇用の維持・確保を、最優先すべき最大の課題と位置づけ、雇用の安定に向けて、継続的な取り組みを推進する。

賃金

○「定期昇給をはじめとする賃金構造維持分の確保」を図ったうえで、「電線産業にふさわしい賃金水準」の実現に向け、賃金引き上げは、3,000円以上を個別賃金方式(35歳標準労働者賃金)で要求する。

年間一時金

○「生活保障部分(固定部分)」と「成果反映部分(変動部分)」を併せて5ヵ月中心とし、産別ミニマム基準は「平均原資年間4ヵ月」とする。

生活環境の改善と産業政策の実現

○連合・JCMへの展開や電線経連・電線工業会、各省庁、協会議員などへの申し入れや意見交換を行いながら幅広い取り組みを推進する。

退職金引き上げ

○「高卒・勤続42年・60歳・標準労働者」の現行水準の開示に取り組む。現行水準が低位にある単組は、格差の実態を踏まえ、単組の主体的判断のもと、格差の是正に取り組む。

労働諸条件および働く環境の改善

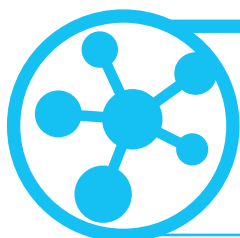
- ワークライフバランスの実現
 - 労働時間短縮
 - 次世代育成支援
 - 介護・看護
- 60歳以降の雇用確保
- 非正規労働者の対応
- 男女共同参画の推進

各単組は、上記内容に基づき、要求を提出します。



石上としお

「電線なくして産業の未来なし。
産業の未来なくして豊かな国民生活もなし。」

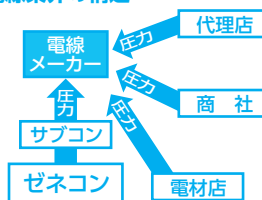


付加価値の適正循環:電線取引「要請」その後、
また、5G時代の光ファイバー取引・コネクタ関連産業の
「付加価値の適正循環」について

- 電線関連産業について、国交省は昨年、経産省と連名で建設業団体の長あてに「電線の取引条件の改善に向けた取組について(要請)」を出した。主な指摘事項は3項目(下記参照)。要請を出して終わりではなく、定期的・継続的にフォローアップして実質的な改善・適正化の完遂に、正式にコミットすべき。
- 業界では、電線だけでなく光ファイバーの取扱量も金額も大きくなっている。先進国では来年一斉に次世代通信規格5Gの商用化スタートが公表される今、取引の活発化が予想される光ファイバーの分野でもしっかり目を光らせ、「付加価値の適正循環」実現が重要と考える。
- 電線関連産業同様、コネクタ産業にも「付加価値の適正循環」の課題がある。現在は車載コネクタ、スマホ市場等の牽引で好調だが、取引弱者という構造的課題を抱えており、国が目を見守る必要がある。

各所でのしわ寄せがメーカーに集まってしまう！
「付加価値の適正循環」
実現が重要です！

電線業界の構造



2018年4月5日(木)
参議院経済産業
委員会にて

電線の取引条件の改善に向けた取組について(主な指摘事項)

- ①「銅の件名先物契約問題」:電線納入時に銅のスポット価格が契約単価を下回ると値引き要求や断ると引取拒否が行われ、逆に契約単価を上回ると契約金額を据え置いたまま契約料以上の納入を要求される。
- ②「合意のない無償配送の要求」:平日配送を休日や夜間配送にタダで切り替えられる。
- ③いわゆる「新品偏重問題」:性能・特性に問題がなくても(電線は腐らないのに)製造年が納入・検収年と同一でないと返品・再納入を要求される。

石上としお議員は、電線関連産業の発展に挑んでいます！

2017年12月8日 我が国の電線関連産業の持続的発展に向けた施策に関する質問主意書を提出。

2018年1月18日 「我が国の電線関連産業の持続的発展に向けた施策に関する質問主意書」に対する答弁書が閣議決定される。

詳しくは、石上としお公式サイト <http://いしがみとしお.com>



石上としお議員を全力で応援しよう！